

まちづくり町民アンケート
調査報告書

令和5年8月

板倉町

目次

1 調査の概要	1
(1) 調査目的.....	1
(2) 調査の概要.....	1
(3) 本調査結果報告書の留意点.....	1
2 調査結果	2
I 回答者の属性	2
(1) 性別.....	2
(2) 年齢.....	2
(3) 居住年数.....	3
(4) 居住している行政区.....	3
(5) 家族構成.....	4
(6) 主たる職業.....	4
(7) 勤務先・通学先.....	5
II 町のことについて	6
問1 あなたは、板倉町を暮らしやすいまちと感じていますか.....	6
問2 あなたは、板倉町に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか.....	6
問3 あなたは、今後も板倉町に住み続けたいですか.....	7
問3-① 住み続けたい理由（複数回答）.....	7
問3-② 住み続けたくない理由（複数回答）.....	8
III 町が行っている取組への重要度と満足度について	9
問4 各項目について、あなたの重要度と満足度を選んでください.....	9
(1) 単純集計.....	9
(2) 重要度と満足度の関係.....	12
(3) 重要度と満足度の関係（男性）.....	14
(4) 重要度と満足度の関係（女性）.....	15
(5) 重要度と満足度の上位下位3項目（男性）.....	16
(6) 重要度と満足度の上位下位3項目（女性）.....	17
(7) 問4の個別事業について自由意見.....	18
IV 板倉町の好きなところについて	20
問5 板倉町の好きなところやもっとPRできるところについて（自由意見）.....	20
V 板倉町がめざすまちづくりについて	22
問6 板倉町がめざすまちづくりについて（自由意見）.....	22
VI イルミネーション事業について	24
問7 令和4年度に実施したイルミネーション事業につきまして、満足度をご記入ください....	24
問8 イルミネーション事業について（自由意見）.....	24
問9 キッチンカーの出店につきまして、満足度をご記入ください.....	26

3 調査結果のまとめ	27
(1) 回答者の属性について.....	27
(2) 町のことについて.....	27
(3) 町が行っている取組について.....	27

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、令和2年度を始期として策定した板倉町総合計画について、後期基本計画の見直しに向けて、町民の皆様からのご意見やご提示をいただき、将来のまちづくりに反映させていくことを目的に実施しました。

(2) 調査の概要

調査地域	板倉町全域
調査対象	板倉町における全世帯（悉皆調査）
調査方法	直接配布、直接回収
対象者数(配布数)	5,875人
有効回収数	3,846人
有効回収率	65.5%
実施期間	令和5年4月～5月

(3) 本調査結果報告書の留意点

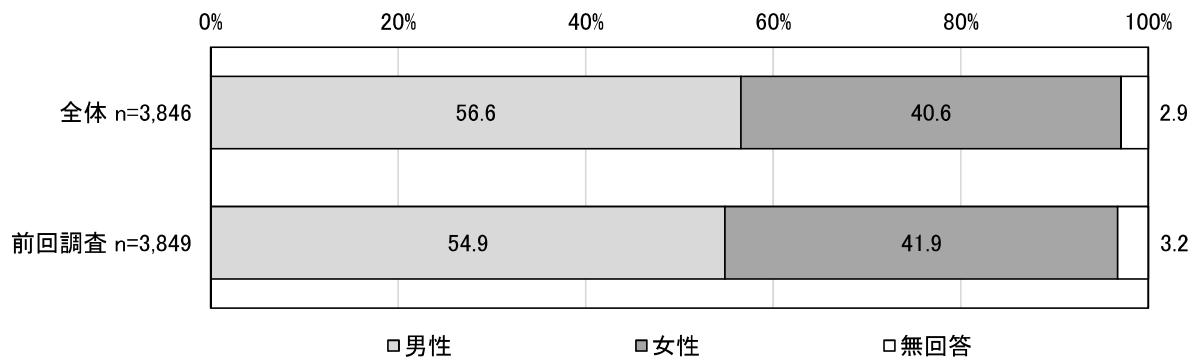
- ・回答項目の比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100.0%にならない場合があります。また、複数回答については、合計が100.0%を超えることがあります。
- ・図表中の「n=〇〇」とは、集計対象者総数（または分類別の該当対象者数）を示しています。そのため、性別等の回答に無回答の場合は集計対象とならないため、分類別の該当者数を足し上げても総数とは一致しないことがあります。
- ・単数回答は帯グラフ、複数回答及び項目数の多い単数回答は棒グラフとなっています。棒グラフは、高い割合の項目がわかりやすいようにすべて割合による降順となっています。
- ・問の中には「～と回答した方におたずねします。」などいろいろな限定があり、回答者が少ない場合は、数人の違いで割合が大きく変わることがあります。
- ・前回調査は、令和元年度調査になります。

2 調査結果

I 回答者の属性

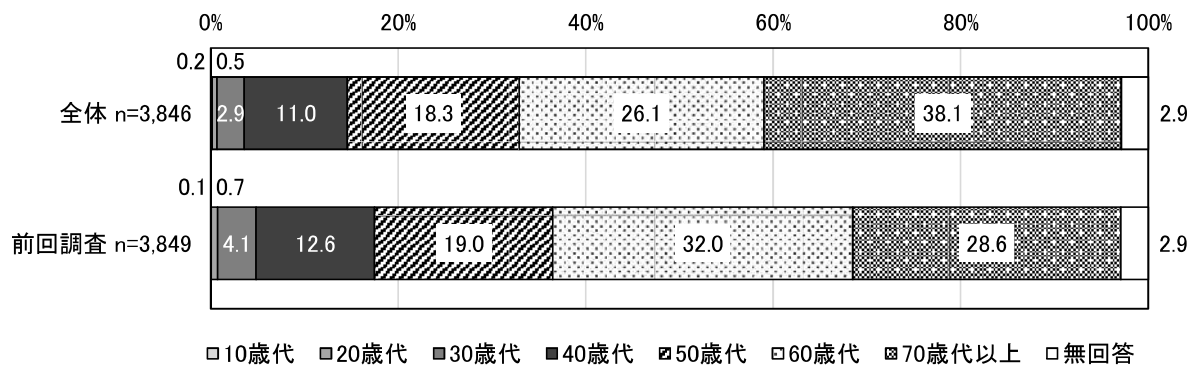
(1) 性別

「男性」が56.6%、「女性」が40.6%となっています。



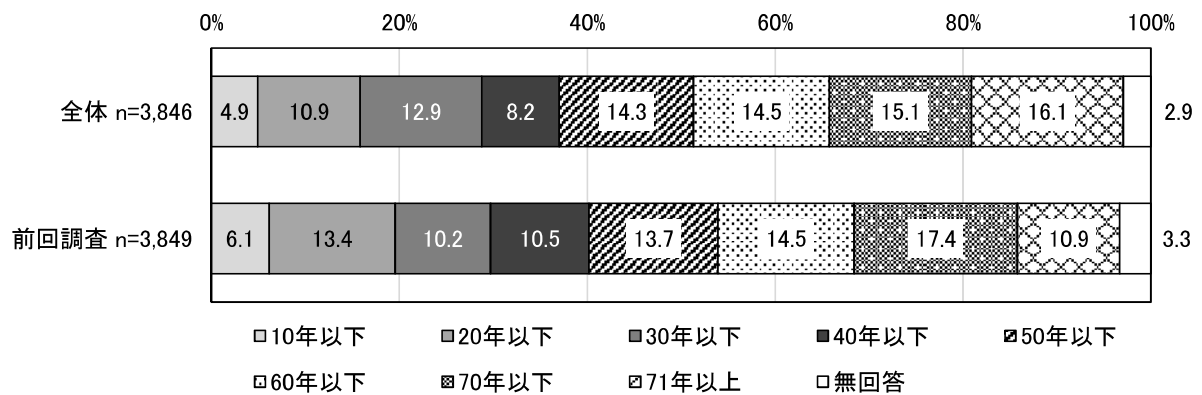
(2) 年齢

「70歳代以上」が38.1%と最も高く、次いで「60歳代」(26.1%)、「50歳代」(18.3%)の順となっており、50歳代以上が8割以上を占めています。



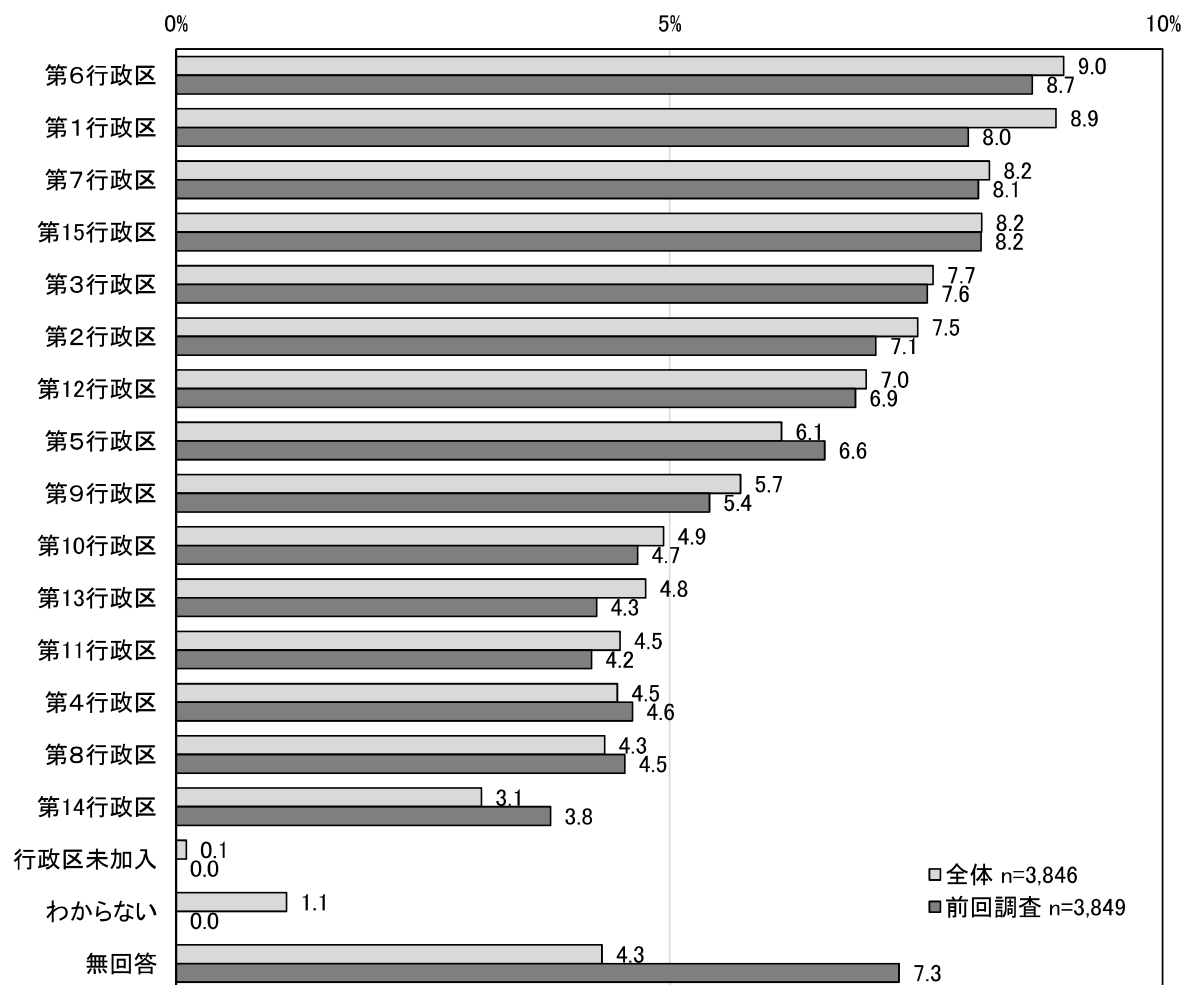
(3) 居住年数

「71年以上」が16.1%と最も高く、次いで「70年以下」(15.1%)、「60年以下」(14.5%)の順となっています。



(4) 居住している行政区

「第6行政区」(9.0%)、「第1行政区」(8.9%)、「第7行政区」「第15行政区」(8.2%)の順となっています。

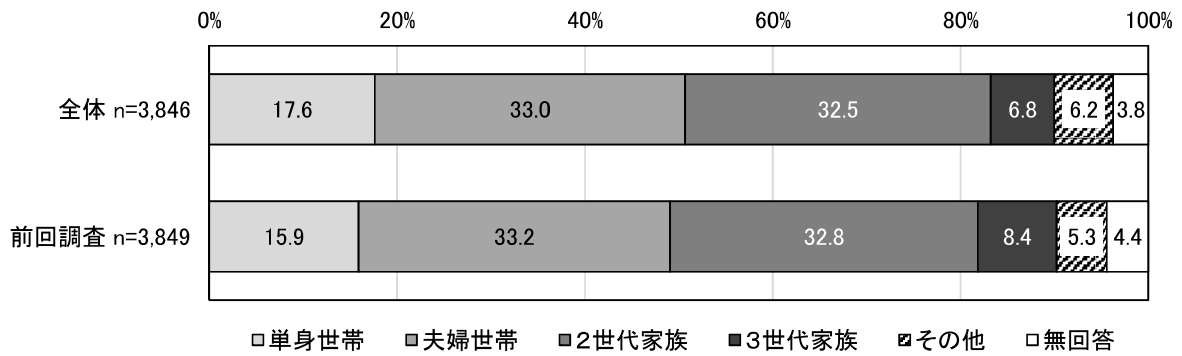


※「行政区未加入」「わからない」は今回調査からの選択肢になります。

2 調査結果

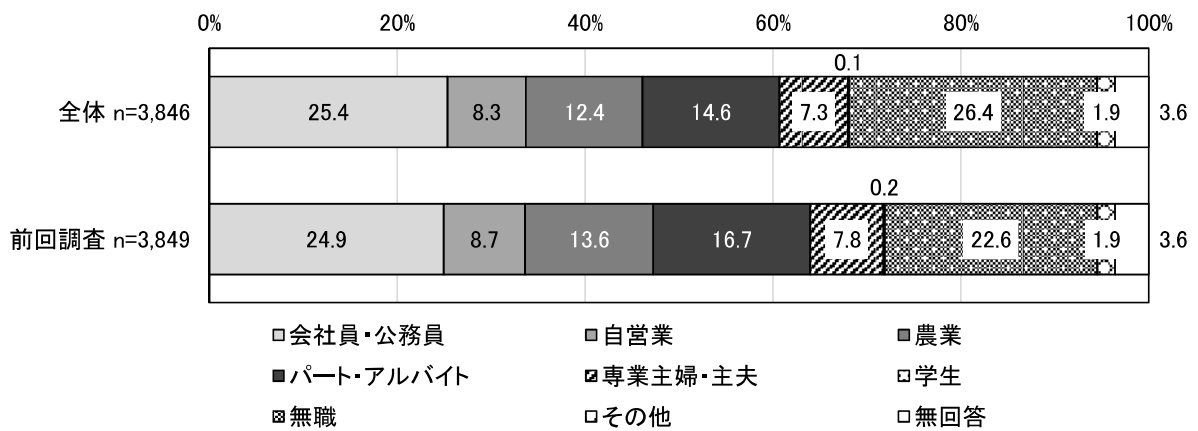
(5) 家族構成

「夫婦世帯」が 33.0%と最も高く、次いで「2世代家族」(32.5%)、「単身世帯」(17.6%) の順となっています。



(6) 主たる職業

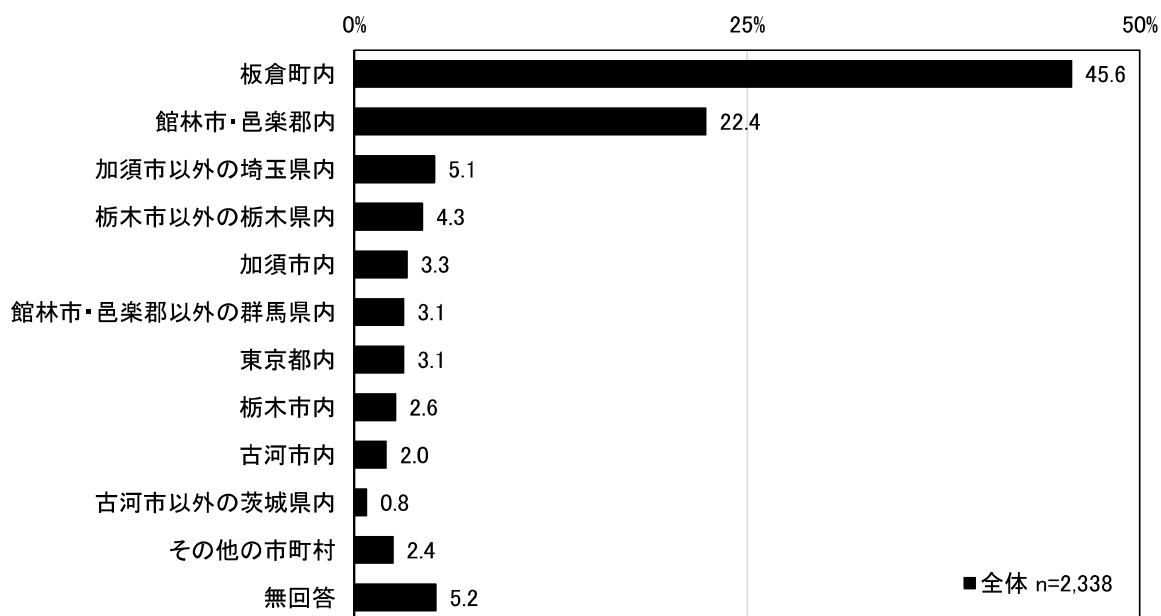
「無職」が 26.4%と最も高く、次いで「会社員・公務員」(25.4%)、「パート・アルバイト」(14.6%) の順となっています。



【(6)で「会社員・公務員」「自営業」「農業」「パート・アルバイト」「学生」の方のみ回答】

(7) 勤務先・通学先

「板倉町内」が45.6%と最も高く、次いで「館林市・邑楽郡内」(22.4%)、「加須市以外の埼玉県内」(5.1%)の順となっています。



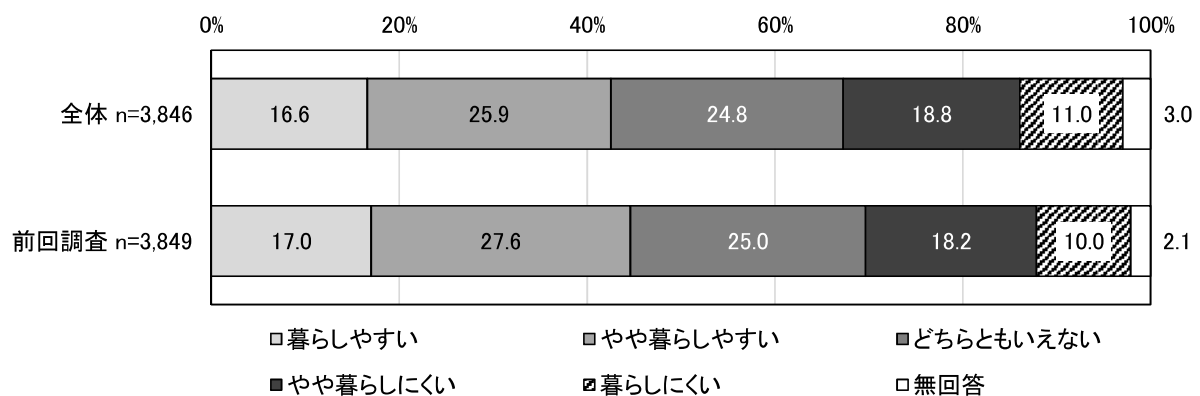
Ⅱ 町のことについて

問1 あなたは、板倉町を暮らしやすいまちと感じていますか

本町の暮らしやすさについては、「やや暮らしやすい」が25.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」(24.8%)、「やや暮らしにくい」(18.8%)の順となっています。

「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせた『暮らしやすい』は42.5%、「暮らしにくい」と「やや暮らしにくい」を合わせた『暮らしにくい』は29.8%となっています。

前回調査と比較すると、『暮らしやすい』は2.1ポイント減少、『暮らしにくい』は1.6ポイント増加しています。

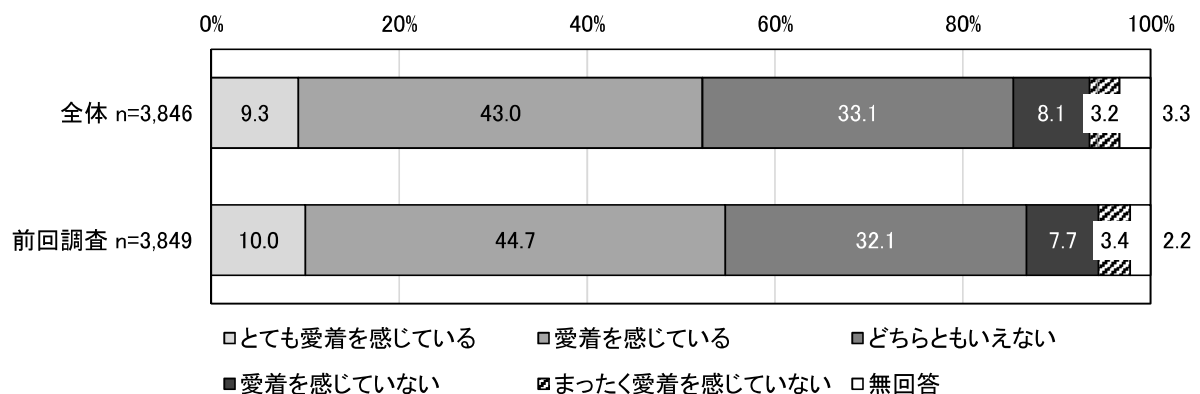


問2 あなたは、板倉町に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか

本町に「自分のまち」として愛着を感じている程度は、「愛着を感じている」が43.0%と最も高く、次いで「どちらともいえない」(33.1%)、「とても愛着を感じている」(9.3%)の順となっています。

「とても愛着を感じている」と「愛着を感じている」を合わせた『愛着を感じている』は52.3%、「愛着を感じていない」と「まったく愛着を感じていない」を合わせた『愛着を感じていない』は11.3%となっています。

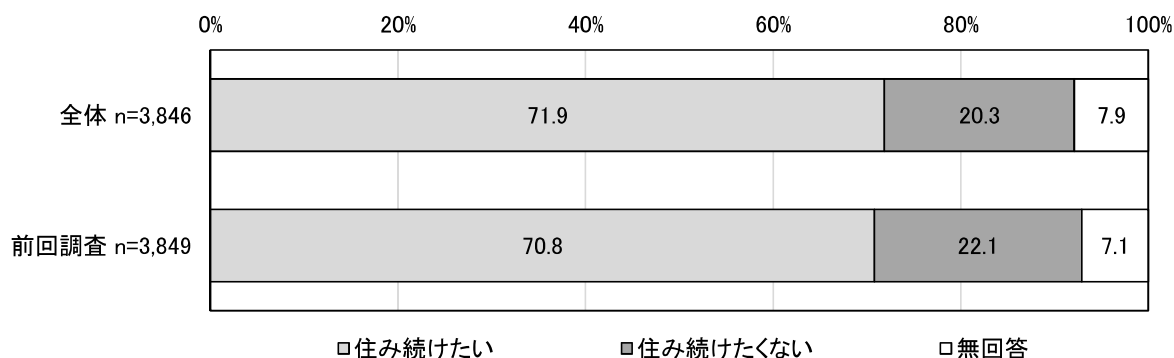
前回調査と比較すると、『愛着を感じている』は2.4ポイント減少、『愛着を感じていない』は0.2ポイント増加しています。



問3 あなたは、今後も板倉町に住み続けたいですか

今後も本町に住み続けたいかは、「住み続けたい」が71.9%、「住み続けたくない」が20.3%となっています。

前回調査と比較すると、「住み続けたい」が1.1ポイント増加、「住み続けたくない」が1.8ポイント減少しています。

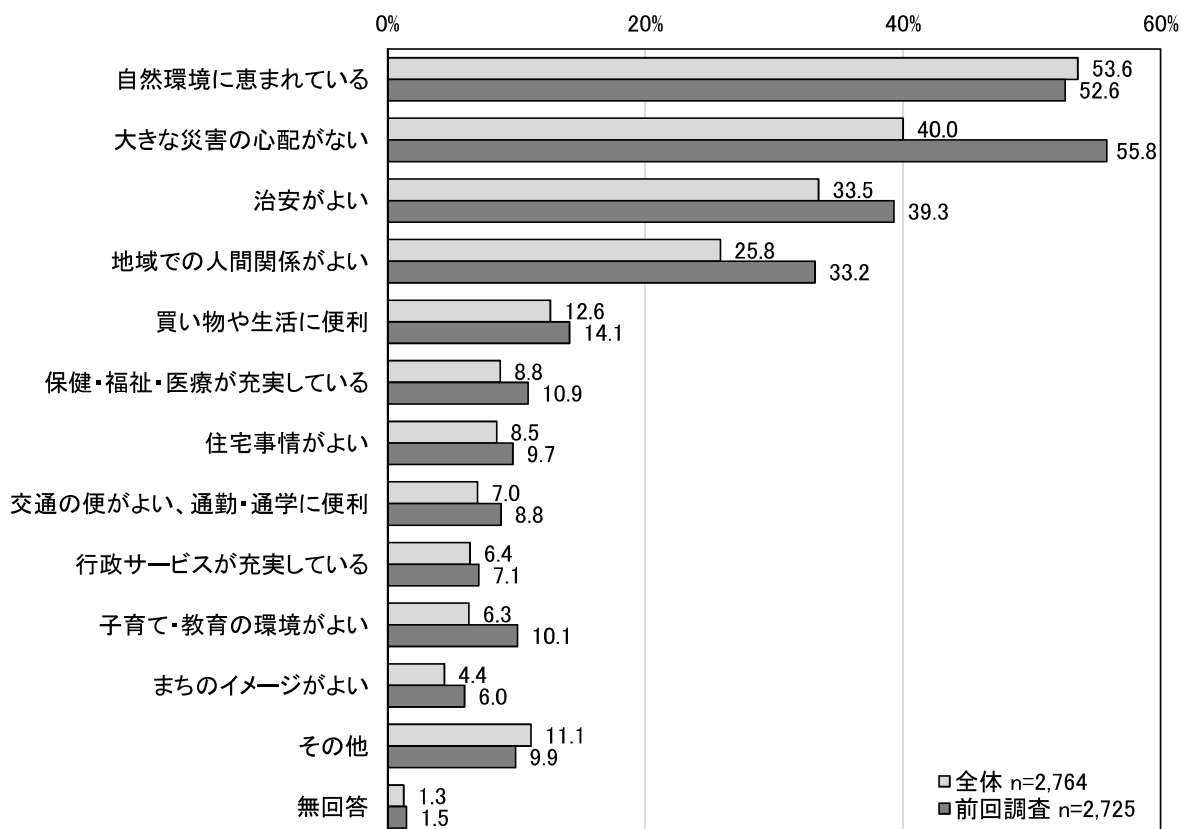


【問3で「住み続けたい」の方のみ回答】

問3-① 住み続けたい理由（複数回答）

問3で「住み続けたい」と回答した人の理由は、「自然環境に恵まれている」が53.6%と最も高く、次いで「大きな災害の心配がない」(40.0%)、「治安がよい」(33.5%)、「地域での人間関係がよい」(25.8%)の順となっています。

前回調査と比較すると、上位4項目は変わらないものの、「自然環境に恵まれている」が増加、「大きな災害の心配がない」「治安がよい」「地域での人間関係がよい」が減少しています。



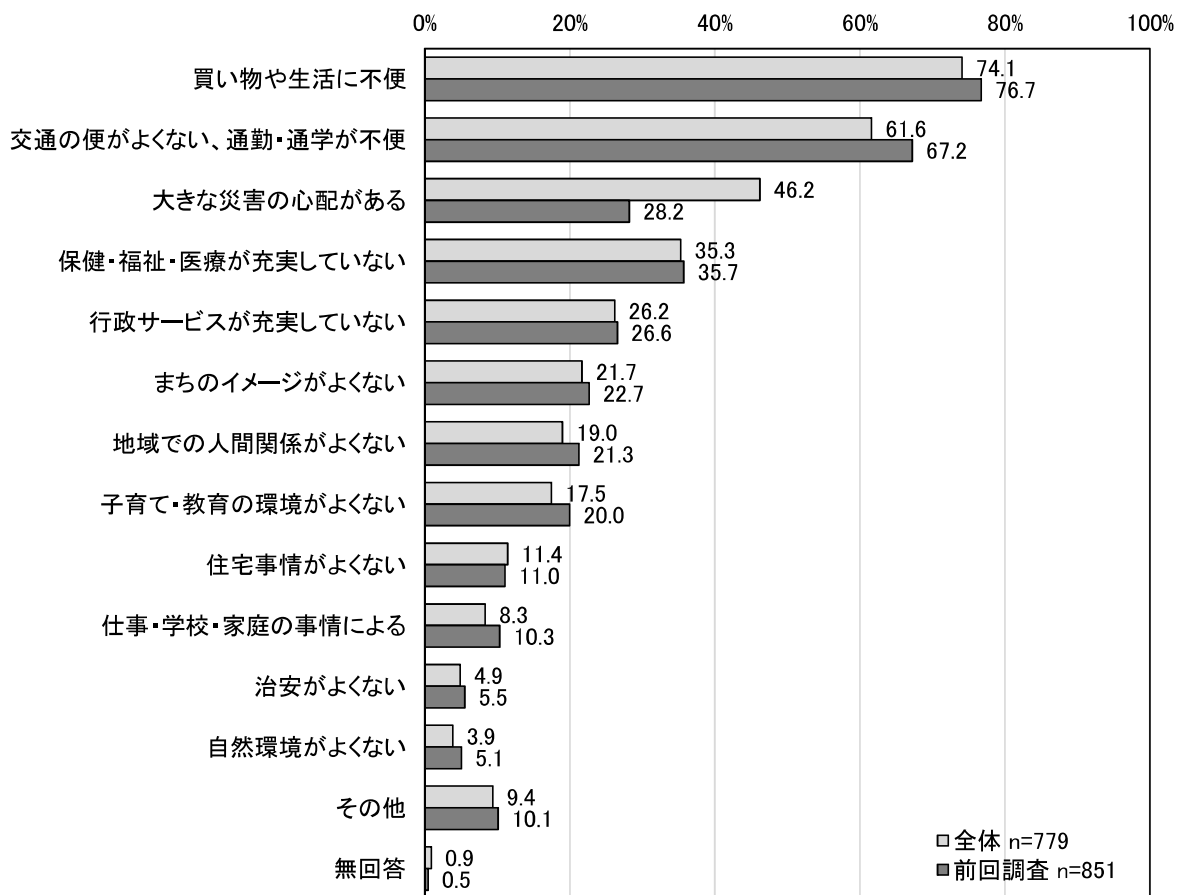
2 調査結果

【問3で「住み続けたくない」の方のみ回答】

問3-② 住み続けたくない理由（複数回答）

問3で「住み続けたくない」と回答した人の理由は、「買い物や生活に不便」が74.1%と最も高く、次いで「交通の便がよくない、通勤・通学が不便」(61.6%)、「大きな災害の心配がある」(46.2%)、「保健・福祉・医療が充実していない」(35.3%)の順となっています。

前回調査と比較すると、上位4項目は変わらないものの、「大きな災害の心配がある」が増加、「買い物や生活に不便」「交通の便がよくない、通勤・通学が不便」「保健・福祉・医療が充実していない」が減少しています。



Ⅲ 町が行っている取組への重要度と満足度について

問4 各項目について、あなたの重要度と満足度を選んでください

(1) 単純集計

町が行っている取組への重要度について、『重要度が高い』（「重要」＋「やや重要」）と『重要度が低い』（「重要でない」＋「あまり重要でない」）に分けてみると、全ての項目において『重要度が高い』の割合が高くなっています。

『重要度が高い』は、「環境衛生の確保」が83.5%と最も高く、次いで「介護（予防）サービスの充実」（81.2%）、「健康の増進」（79.9%）、「防犯体制の強化」（79.8%）、「災害への備え」（79.0%）、「道路網の整備」（78.3%）、「公共交通の充実」（77.1%）、「地域福祉の推進」（75.4%）、「子育て支援の充実」（74.1%）の順となっており、それぞれ7割を超えています。

満足度について、『満足度が高い』（「満足」＋「やや満足」）と『満足度が低い』（「不満」＋「やや不満」）に分けてみると、『満足度が高い』は、「健康の増進」が54.3%と最も高く、次いで「環境衛生の確保」（51.2%）、「子育て支援の充実」（40.3%）、「災害への備え」（37.1%）、「介護（予防）サービスの充実」（32.3%）の順となっています。

また、『満足度が低い』は、「公共交通の充実」が36.0%と最も高く、次いで「防犯体制の強化」（29.2%）、「道路網の整備」（28.8%）の順となっています。

取組に対する重要度と満足度

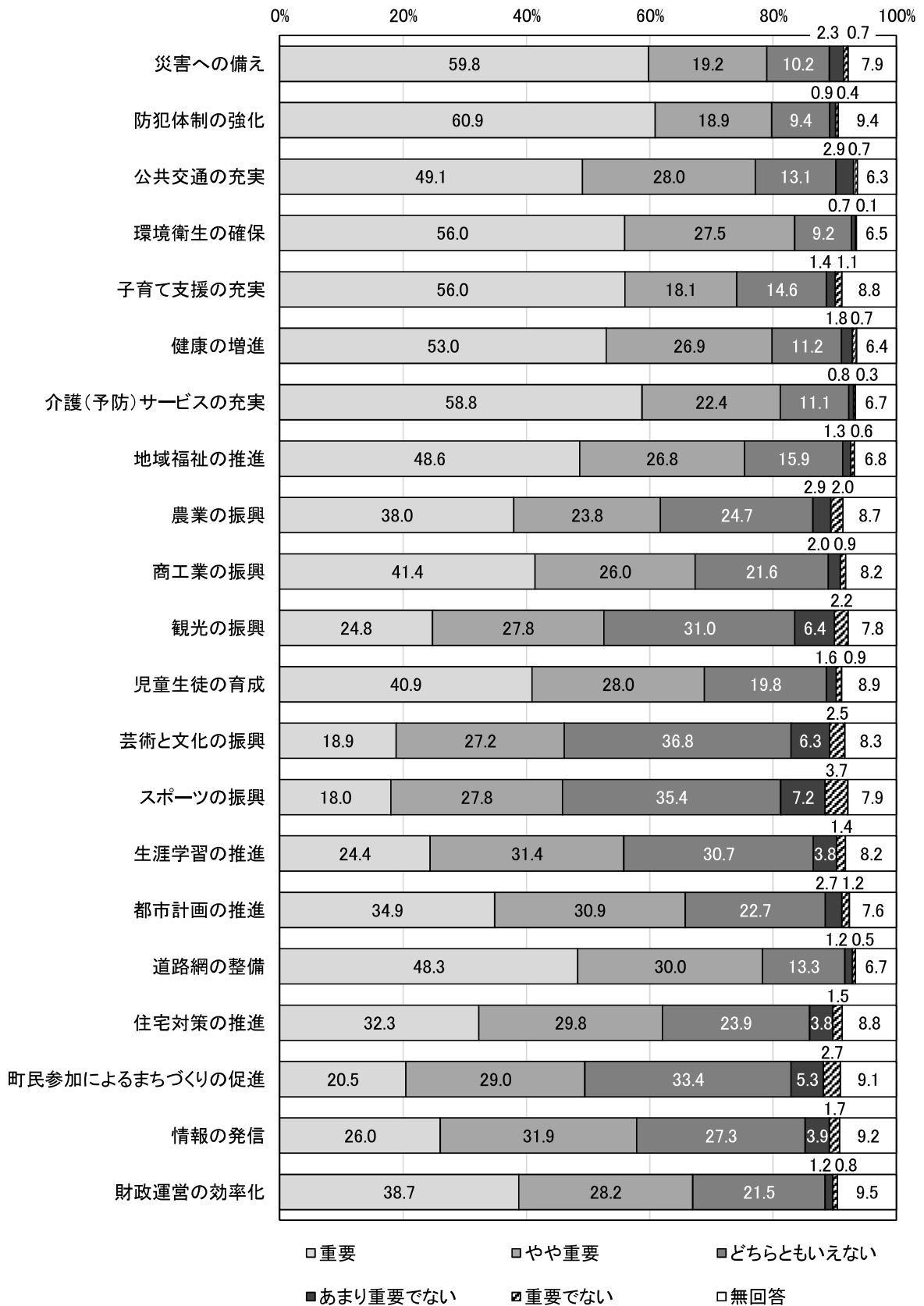
(%)

	重要度が高い	重要度が低い	満足度が高い	満足度が低い
災害への備え	79.0(76.2)	3.0(3.2)	37.1(39.9)	17.5(13.9)
防犯体制の強化	79.8(77.7)	1.3(1.4)	20.5(24.1)	29.2(24.8)
公共交通の充実	77.1(74.9)	3.6(2.2)	22.4(20.0)	36.0(37.2)
環境衛生の確保	83.5(81.2)	0.8(0.8)	51.2(43.8)	12.7(15.5)
子育て支援の充実	74.1(74.8)	2.5(2.6)	40.3(41.4)	10.3(9.2)
健康の増進	79.9(77.4)	2.5(1.4)	54.3(47.2)	5.8(6.0)
介護（予防）サービスの充実	81.2(78.9)	1.1(1.1)	32.3(30.3)	10.4(11.5)
地域福祉の推進	75.4(73.7)	1.9(2.0)	29.5(26.7)	8.2(9.4)
農業の振興	61.8(58.4)	4.9(4.9)	16.9(15.5)	14.8(13.9)
商工業の振興	67.4(60.6)	2.9(3.7)	14.6(15.1)	25.2(19.4)
観光の振興	52.6(48.5)	8.6(10.0)	11.5(11.5)	25.5(23.8)
児童生徒の育成	68.9(67.4)	2.5(2.4)	20.8(21.6)	10.4(11.3)
芸術と文化の振興	46.1(45.5)	8.8(8.5)	15.5(14.5)	9.9(10.7)
スポーツの振興	45.8(48.2)	10.9(10.6)	16.4(19.2)	12.1(14.0)
生涯学習の推進	55.8(54.1)	5.2(5.6)	19.1(19.3)	13.4(12.8)
都市計画の推進	65.8(58.0)	3.9(4.9)	15.1(13.2)	28.0(23.8)
道路網の整備	78.3(73.2)	1.7(2.3)	25.1(24.6)	28.8(25.6)
住宅対策の推進	62.1(56.3)	5.3(6.1)	14.6(14.1)	22.6(21.0)
町民参加によるまちづくりの促進	49.5(48.7)	8.0(6.7)	14.3(15.6)	12.8(12.4)
情報の発信	57.9(54.6)	5.6(6.0)	23.4(23.0)	12.3(12.1)
財政運営の効率化	66.9(63.8)	2.0(2.8)	17.1(14.6)	17.0(19.3)

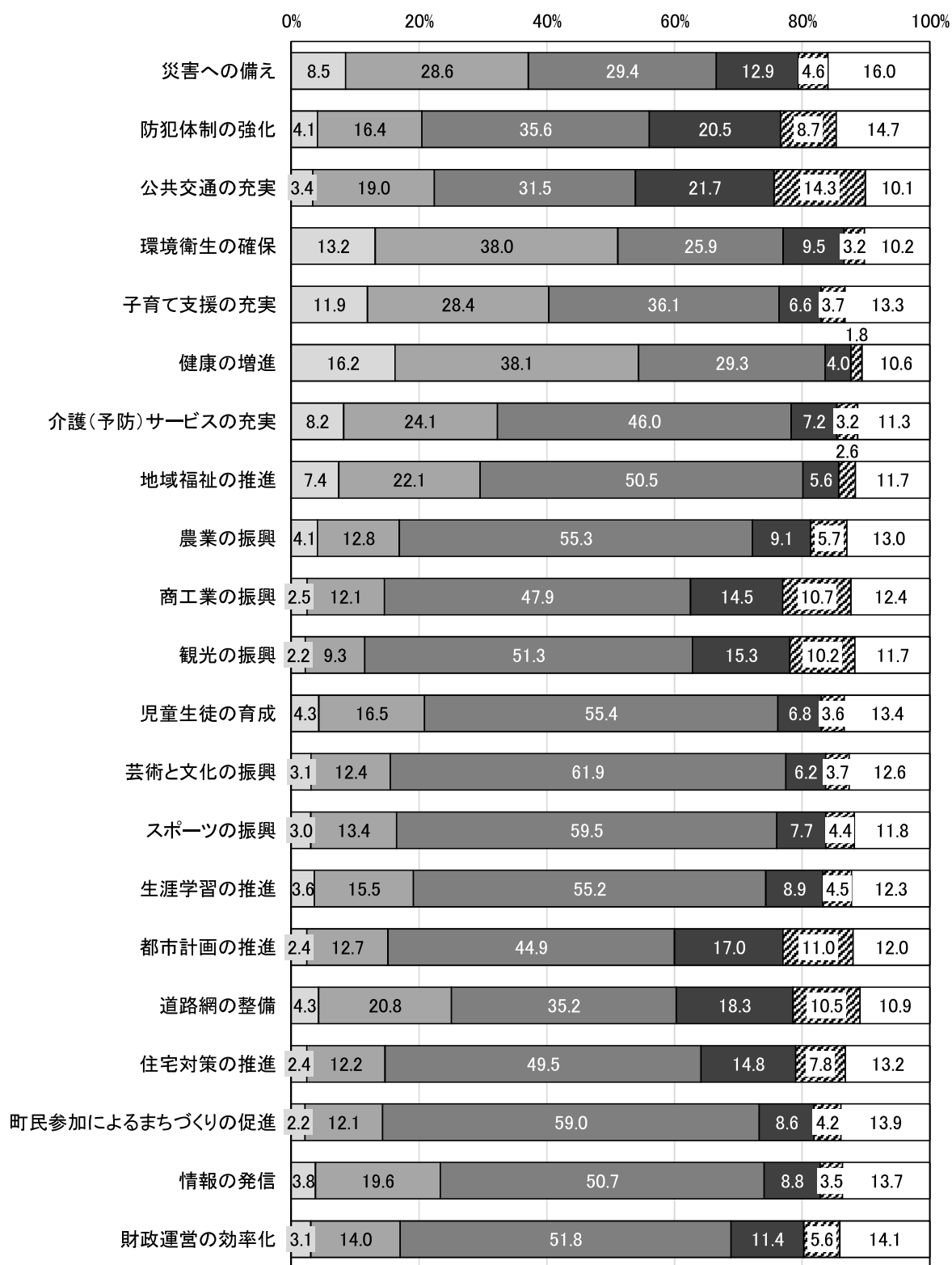
※（ ）は前回調査の結果になります。

2 調査結果

取組に対する重要度 (n=3, 846)



取組に対する満足度 (n=3,846)



□満足 □やや満足 □どちらともいえない □やや不満 □不満 □無回答

2 調査結果

(2) 重要度と満足度の関係

まちづくりに対する重要度、満足度について指数化し、指数関係を4象限で表しました。指数の計算方法、図の見方などは下記のとおりです。

■ 指数の算出について

- ・重要度指数は各項目の回答を、「重要」：2点、「やや重要」：1点、「どちらともいえない」：0点、「あまり重要でない」：-1点、「重要でない」：-2点として、その項目に対する回答者数の合計で除した。
- ・満足度指数は各項目の回答を、「満足」：2点、「やや満足」：1点、「どちらともいえない」：0点、「やや不満」：-1点、「不満」：-2点として、その項目に対する回答者の合計で除した。

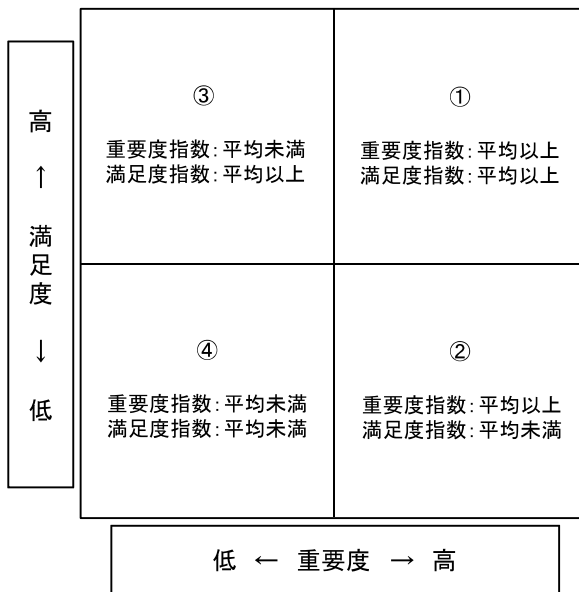
(例)「災害への備え」について、327人は「満足」、1,101人は「やや満足」、1,132人が「どちらともいえない」、495人は「やや不満」、177人は「不満」と回答した。回答者数は3,846人中3,232人である。

この場合、満足度指数は…

$$(327人 \times 2点 + 1,101人 \times 1点 + 1,132人 \times 0点 + 495人 \times -1点 + 177人 \times -2点) \div 3,232人 = 0.28点$$

- ・図の原点は、21項目ごとに算出した指数の平均（重要度：1.11 満足度：0.07）となっている。

■ 図の見方



①重要度・満足度ともに高い

満足度を低下させないために、現在の水準を維持・向上させることが求められる可能性がある。

②重要度は高いが、満足度が低い

住民の期待に対して十分対応できていないことが考えられ、住民満足度を向上するためにも最も優先して取り組まなければならない可能性がある。

③重要度は低いが、満足度は高い

社会的意義や法律的な義務付けなどへの配慮は必要であるものの、財政状況によっては見直しを行う可能性がある。

④重要度・満足度ともに低い

重要度（住民の期待）が低いため、満足度を上げるための対策は必ずしも緊急ではない可能性がある。

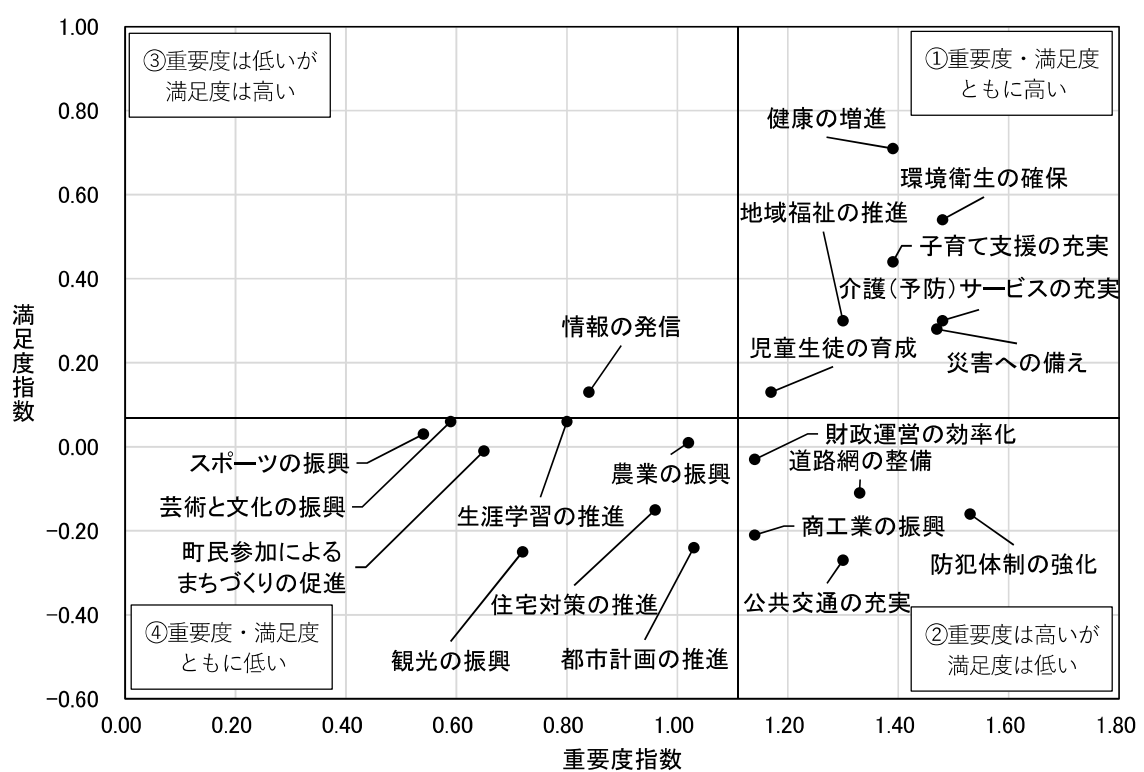
重要度と満足度の関係図をみると、「①重要度・満足度ともに高い」項目は、「災害への備え」「環境衛生の確保」「子育て支援の充実」「健康の増進」「介護(予防)サービスの充実」「地域福祉の推進」「児童生徒の育成」が挙げられます。

「②重要度は高いが、満足度は低い」項目は、「防犯体制の強化」「公共交通の充実」「商工業の振興」「道路網の整備」「財政運営の効率化」が挙げられます。

「③重要度は低いが、満足度は高い」項目は、「情報の発信」が挙げられます。

「④重要度・満足度ともに低い」項目は、「農業の振興」「観光の振興」「生涯学習の推進」「都市計画の推進」「住宅対策の推進」「町民参加によるまちづくりの促進」「スポーツの振興」「芸術と文化の振興」が挙げられます。

重要度と満足度の関係



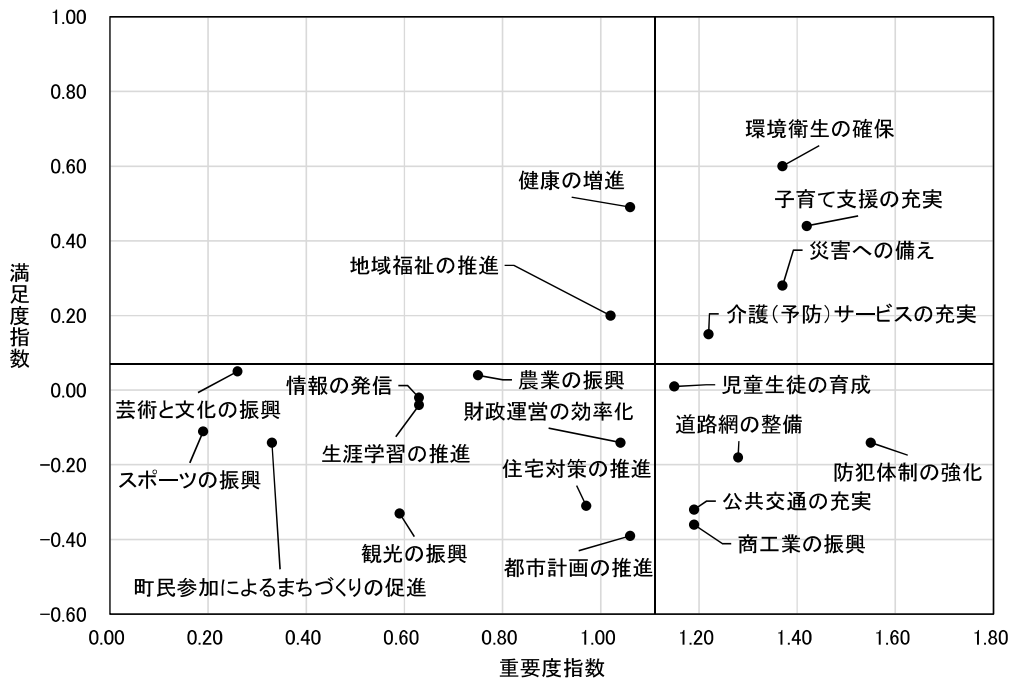
2 調査結果

(3) 重要度と満足度の関係（男性）

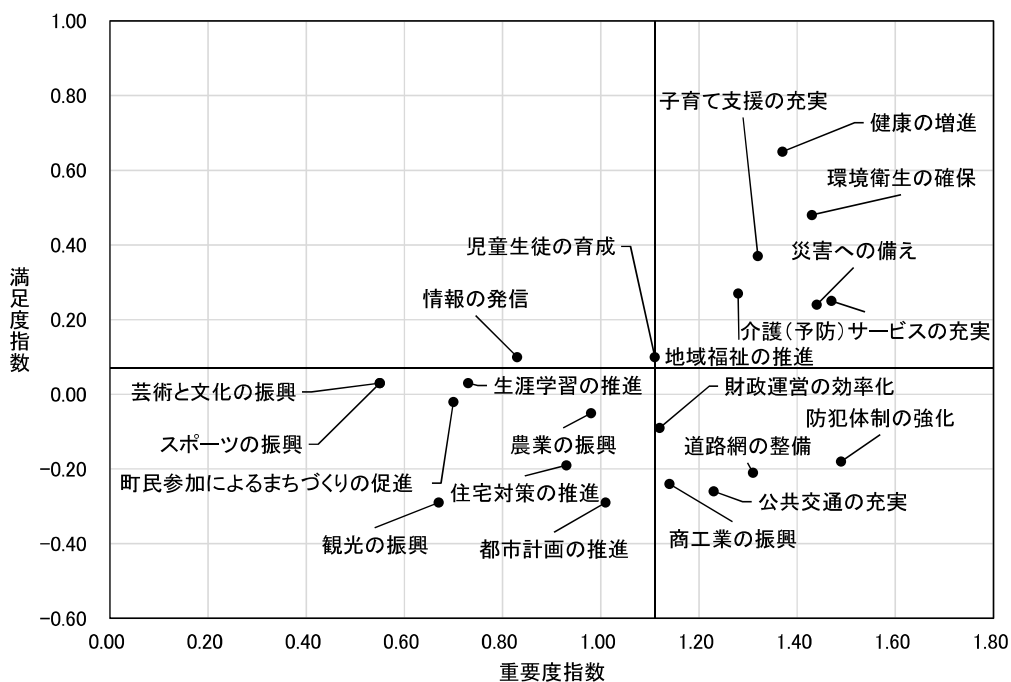
男性の50歳未満と50歳以上を比較すると、「重要度・満足度ともに高い」項目では、50歳以上で「健康の増進」「地域福祉の推進」「児童生徒の育成」が挙げられています。「重要度は高いが、満足度は低い」項目では、50歳未満では「児童生徒の育成」、50歳以上では「財政運営の効率化」が挙げられています。

また、「重要度は低いが、満足度は高い」項目では、50歳未満では「健康の増進」「地域福祉の推進」、50歳以上では「情報の発信」が挙げられています。

重要度と満足度の関係（男性50歳未満）



重要度と満足度の関係（男性50歳以上）

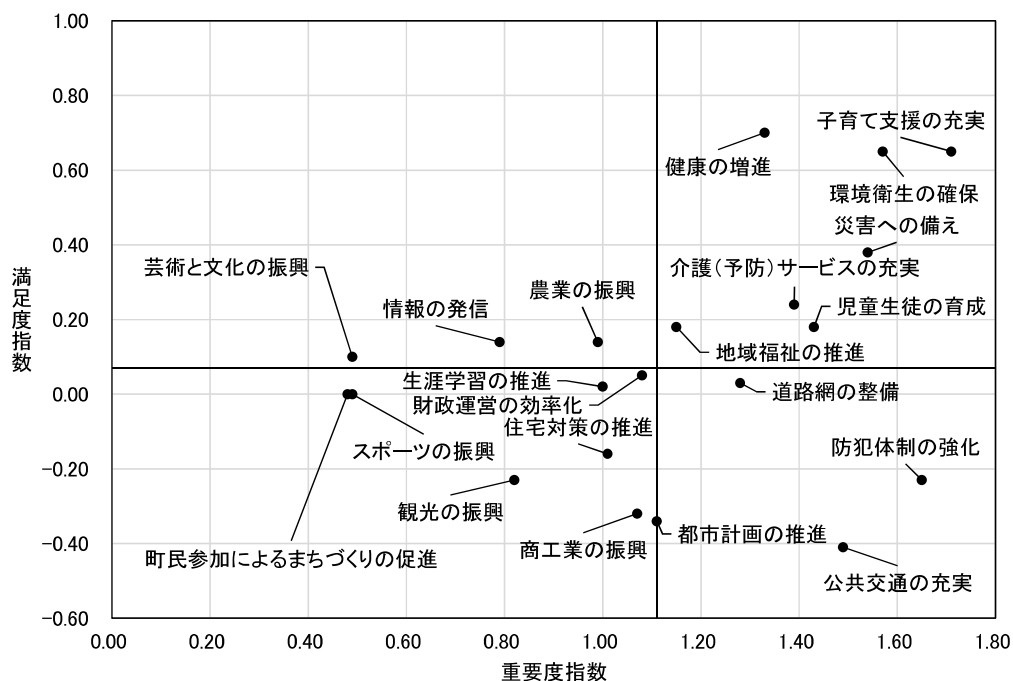


(4) 重要度と満足度の関係（女性）

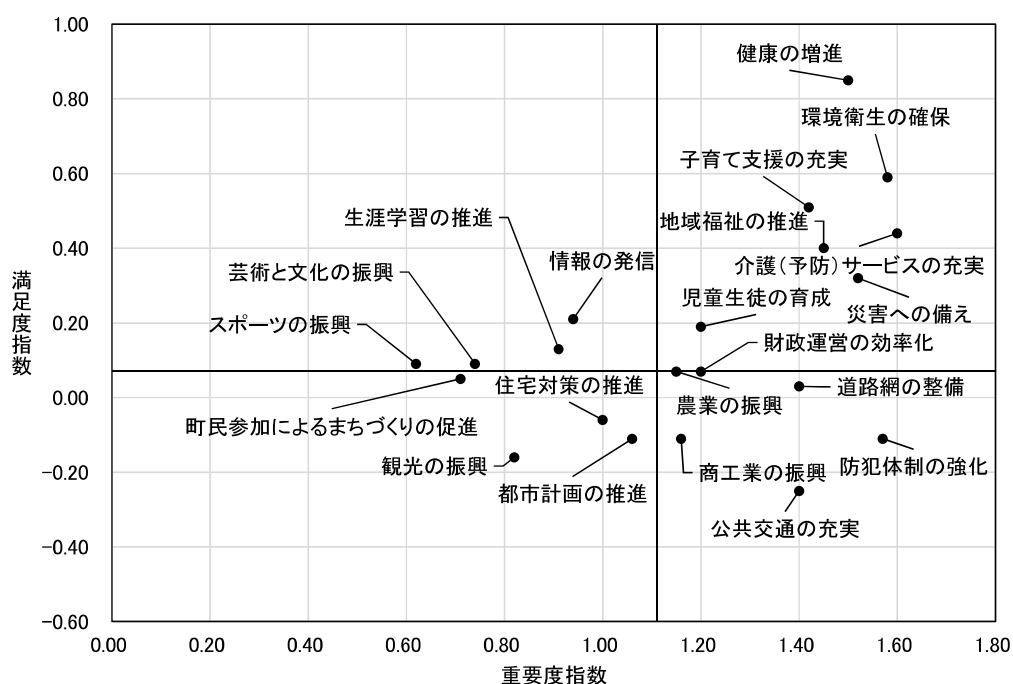
女性の50歳未満と50歳以上を比較すると、「重要度・満足度ともに高い」項目では、50歳以上で「農業の振興」「財政運営の効率化」が挙げられています。「重要度は高いが、満足度は低い」項目では50歳以上では「商工業の振興」が挙げられています。

また、「重要度は低いが、満足度は高い」項目では、50歳未満では「農業の振興」、50歳以上では「スポーツの振興」「生涯学習の推進」が挙げられています。

重要度と満足度の関係（女性50歳未満）



重要度と満足度の関係（女性50歳以上）



2 調査結果

(5) 重要度と満足度の上位下位3項目（男性）

男性の50歳未満と50歳以上の重要度と満足度の上位下位3項目をみると、重要度の上位3項目は「防犯体制の強化」と「災害への備え」は同じですが、50歳未満では「子育て支援の充実」「環境衛生の確保」、50歳以上では「介護（予防）サービスの充実」が並んでいます。

満足度の上位3項目では、どちらも「健康の増進」「子育て支援の充実」「環境衛生の確保」が並んでいます。

下位3項目をみると、重要度では「芸術と文化の振興」「スポーツの振興」は同じですが、50歳未満では「町民参加によるまちづくりの促進」、50歳以上では「観光の振興」が並んでいます。満足度では「観光の振興」と「都市計画の推進」は同じですが、50歳未満では「商工業の振興」、50歳以上では「公共交通の充実」が並んでいます。

重要度と満足度上位3項目（男性50歳未満）

項目	重要度	項目	満足度
防犯体制の強化	1.55	環境衛生の確保	0.60
子育て支援の充実	1.42	健康の増進	0.49
災害への備え	1.37	子育て支援の充実	0.44
環境衛生の確保	1.37		

重要度と満足度上位3項目（男性50歳以上）

項目	重要度	項目	満足度
防犯体制の強化	1.49	健康の増進	0.65
介護（予防）サービスの充実	1.47	環境衛生の確保	0.48
災害への備え	1.44	子育て支援の充実	0.37

重要度と満足度下位3項目（男性50歳未満）

項目	重要度	項目	満足度
スポーツの振興	0.19	都市計画の推進	-0.39
芸術と文化の振興	0.26	商工業の振興	-0.36
町民参加によるまちづくりの促進	0.33	観光の振興	-0.33

重要度と満足度下位3項目（男性50歳以上）

項目	重要度	項目	満足度
芸術と文化の振興	0.55	観光の振興	-0.29
スポーツの振興	0.55	都市計画の推進	-0.29
観光の振興	0.67	公共交通の充実	-0.26

(6) 重要度と満足度の上位下位3項目（女性）

女性の50歳未満と50歳以上の重要度と満足度の上位下位3項目をみると、重要度の上位3項目は、「防犯体制の強化」と「環境衛生の確保」は同じですが、50歳未満では「子育て支援の充実」、50歳以上では「介護（予防）サービスの充実」が並んでいます。

満足度の上位3項目ではどちらも「健康の増進」「環境衛生の確保」「子育て支援の充実」が並んでいます。

下位3項目をみると、重要度ではどちらも「芸術と文化の振興」「スポーツの振興」「町民参加によるまちづくりの促進」が並び、満足度では「公共交通の充実」「都市計画の推進」「商工業の振興」は同じですが、50歳以上では「観光の振興」「防犯体制の強化」が並んでいます。

重要度と満足度上位3項目（女性50歳未満）

項目	重要度	項目	満足度
子育て支援の充実	1.71	健康の増進	0.70
防犯体制の強化	1.65	環境衛生の確保	0.65
環境衛生の確保	1.57	子育て支援の充実	0.65

重要度と満足度上位3項目（女性50歳以上）

項目	重要度	項目	満足度
介護（予防）サービスの充実	1.60	健康の増進	0.85
環境衛生の確保	1.58	環境衛生の確保	0.59
防犯体制の強化	1.57	子育て支援の充実	0.51

重要度と満足度下位3項目（女性50歳未満）

項目	重要度	項目	満足度
町民参加によるまちづくりの促進	0.48	公共交通の充実	-0.41
芸術と文化の振興	0.49	都市計画の推進	-0.34
スポーツの振興	0.49	商工業の振興	-0.32

重要度と満足度下位3項目（女性50歳以上）

項目	重要度	項目	満足度
スポーツの振興	0.62	公共交通の充実	-0.25
町民参加によるまちづくりの促進	0.71	観光の振興	-0.16
芸術と文化の振興	0.74	防犯体制の強化	-0.11
		商工業の振興	-0.11
		都市計画の推進	-0.11

(7) 問4の個別事業について自由意見

個別事業についての自由意見の内容を分類し、その回答内容の一部を記載します。総件数は592件でした。また、回答内容ごとの件数を足し上げても、1つの意見で複数に分かれているものもあるため、総件数とは一致しません。

記述内容をまとめると、「施設・環境関連」が26.2%と最も高く、次いで「交通・道路網関連」(19.6%)、「子育て支援・教育関連」(9.0%)の順となっています。

年代区分別に意見の割合をみると、50歳未満では50歳以上と比較して「施設・環境関連」「子育て支援・教育関連」が特に高くなっています。

<交通・道路網関連 116件/592件>

道路については、生活圈道路の拡幅、既存道路の計画的な修繕、利根川・渡良瀬川への新橋の建設、などの意見が多く見られました。公共交通については、運転免許証返納者へのデマンドバスなどのサービスや路線バスの運行範囲・運行時間・本数の調整に関する要望といった意見が見られました。

<施設・環境関連 155件/592件>

新規に建設を要望する施設として、公共施設では大型公園などが見られました。民間施設としては、駅前の開発や、商業施設などの誘致を希望する意見が多く見られました。環境関連では、公園の整備、ゴミステーションの整備、水路や池などの整備、防災施設の利活用を希望するといった意見が見られました。また、東洋大学撤退後を懸念する意見が多く見られました。

<子育て支援・教育関連 53件/592件>

子育て関連では、子育て支援の充実、子どもに対する手当支給期間の長期化、保育施設の整備、小・中・高等学校の整備についての意見が見られました。教育に関しては、自習室の整備に関することなどの意見が見られました。

<災害関連 41件/592件>

防災ラジオの貸与(無料)に肯定的な意見が多いなか、転入者へ自己負担を課すことへの改善を求める意見が見られました。避難訓練を実践に即した方法に変更したほうが良いなど、水害に関連する意見が見られました。

<高齢・福祉・障害関連 27件/592件>

高齢者のみ世帯の交通手段の確保、療育(発達支援)や放課後デイサービス等を受けられる施設の整備に関する要望などが見られました。

<安全・安心関連 23件/592件>

防犯カメラ・防犯灯の増設、街灯の設置、などに関する要望が見られました。

<農業関連 26件/592件>

担い手への投資、稲作以外の珍しい作物を栽培すること、休耕地の雑草や虫の問題、高齢化による農地管理の困難化、などの意見が見られました。

＜医療・健康関連 28件／592件＞

館林厚生病院に診療科目を増やして欲しい、総合病院の誘致、医療機関の充実、などの意見が見られました。

＜観光関連 16件／592件＞

雷電神社や高鳥天満宮などのほか観光農園など新たな観光施設の充実、観光客が食事や買い物ができる店の整備など、多方面にわたる意見が見られました。

＜スポーツ振興関連 21件／592件＞

子どもから高齢者までが利用できるスポーツ施設の充実、東洋大学の運動施設の町民への貸出し、町民体育祭やスポーツフェスティバルの役員負担が大きい、などの意見が見られました。

＜空き家対策関連 15件／592件＞

空き家対策の充実（補助金や利活用）、空き家周辺の雑草などの問題への意見が見られました。

＜文化・芸術関連 7件／592件＞

施設・図書の実質、板倉の歴史を学べる講座の実施、近隣施設で開催される催し物チケットの購入助成、などの意見が見られました。

＜上記以外の町政について 108件／592件＞

合併処理浄化槽の修繕への補助金、町の取り組みをもっと発信してほしい、ニュータウン構想への不満、少子化対策の充実、土日の開庁、東洋大学撤退後町としてどのように取り組むのか知りたい、ふるさと納税の活用など、多方面にわたる意見が見られました。

＜その他 55件／592件＞

アンケートだけにならないように取り組んでほしい、今後の町づくりについて将来のビジョンが知りたい、知らない事業も多いため設問の仕方に疑問がある、取組の目標値や達成率などが無いと満足度の判定は困難、などの意見が見られました。

	単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	回答者数	
		交通・道路網関連	施設・環境関連	子育て支援・教育関連	災害関連	高齢・福祉・障害関連	安全・安心関連	農業関連	医療・健康関連	観光関連	スポーツ振興関連	空き家対策関連	文化・芸術関連	上記以外の町政について	その他	特になし		
全体	n	116	155	53	41	27	23	26	28	16	21	15	7	108	55	33	592	
	%	19.6	26.2	9.0	6.9	4.6	3.9	4.4	4.7	2.7	3.5	2.5	1.2	18.2	9.3	5.6	100.0	
年齢区分別	50歳未満	n	24	46	29	8	4	2	5	6	3	6	2	1	15	15	5	134
		%	17.9	34.3	21.6	6.0	3.0	1.5	3.7	4.5	2.2	4.5	1.5	0.7	11.2	11.2	3.7	100.0
	50歳以上	n	92	109	23	32	23	21	21	22	13	15	13	6	92	39	27	453
		%	20.3	24.1	5.1	7.1	5.1	4.6	4.6	4.9	2.9	3.3	2.9	1.3	20.3	8.6	6.0	100.0

IV 板倉町の好きなところについて

問5 板倉町の好きなところやもっとPRできるところについて（自由意見）

板倉町の好きなところやもっとPRできるところについての自由意見の内容を分類し、その回答内容の一部を記載します。総件数は614件でした。また、回答内容ごとの件数を足し上げても、1つの意見で複数に分かれているものもあるため、総件数とは一致しません。

記述内容をまとめると、「環境の良さ」が42.7%と最も高く、次いで「PRについての提案」が25.4%、「環境・施設等の改善・要望」が18.1%の順となっています。

年齢区別の意見の割合に大きな違いは見られませんでした。

<環境の良さ 262件/614件>

遊水地等の自然の豊かさ、空気がきれい、館林インターに近い、観光資源が多い、東京・海・山に短時間で行ける、大きな事件と災害がない、といった意見が見られました。

<PRについての提案 156件/614件>

町の特産品や自然の豊かさ、由緒ある雷電神社や高鳥天満宮等の重要文化財、子育て支援の充実など他市町村と比べ誇ることができることをもっとPRしてほしい、といった意見が見られました。

<環境・施設等の改善・要望 111件/614件>

既存施設や環境の整備・改善、企業・商業の誘致、レジャー・スポーツ施設の整備、休耕地・農地の活用、といった意見が見られました。

<資源の利活用 60件/614件>

雷電神社、高鳥天満宮、渡良瀬遊水地、水郷公園、ふれあい公園などの資源を利活用し、もっとPRできる、といった意見が見られました。

<住民の人柄 37件/614件>

地域コミュニティがある、世代間交流がある、人々が優しい、ほっと一息できる、住民の仲も良い、といった意見が見られました。

<食べ物の美味しさ 9件/614件>

米・野菜がおいしい、川魚がおいしい、お水がおいしい、といった意見が見られました。

<その他 97件/614件>

コロナ関連での生活支援など他の地域に比べ対応が早いと感じた、子育て世代への対応が手厚い、コスモスまつりを復活させてほしい、町の発展に中途半端な印象がある、前例のない事業にも取り組んでほしい、町の潜在力を経済効果に結びつけられるとよい、といった意見が見られました。

板倉町の好きなところやもっとPRできるところについて（年齢区分別）

		単位	1	2	3	4	5	6	7	8	回答者数
			環境の良さ	PRについての提案	環境・施設等の改善・要望	資源の利活用	住民の人柄	食べ物の美味しさ	その他	特になし	
全体		n	262	156	111	60	37	9	97	86	614
		%	42.7	25.4	18.1	9.8	6.0	1.5	15.8	14.0	100.0
年齢区分別	50歳未満	n	58	37	24	9	5	3	27	15	132
		%	43.9	28.0	18.2	6.8	3.8	2.3	20.5	11.4	100.0
	50歳以上	n	203	118	87	50	32	6	69	70	478
		%	42.5	24.7	18.2	10.5	6.7	1.3	14.4	14.6	100.0

V 板倉町がめざすまちづくりについて

問6 板倉町がめざすまちづくりについて（自由意見）

板倉町がめざすまちづくりについての自由意見の内容を分類し、その回答内容の一部を記載します。総件数は731件でした。また、回答内容ごとの件数を足し上げても、1つの意見で複数に分かれているものもあるため、総件数とは一致しません。

記述内容をまとめると、「安全・安心なまちづくり」が22.7%と最も高く、次いで「環境や施設等の整備・改善」(21.8%)、「行政への意見」(19.4%)、「産業の開拓・整備」(13.0%)の順となっています。

年齢区別に意見の割合をみると、50歳未満では50歳以上より「環境や施設等の整備・改善」「子ども・子育て支援・教育について」で特に高くなっています。

<環境や施設等の整備・改善 159件/731件>

総合病院の誘致、公共交通機関の充実、駅周辺の整備により更なる発展を目指してほしい、といった意見が見られました。

<人が集まり活気づくまちづくり 68件/731件>

若い人や子育て世代が魅力を感じ住みたくなるようなまちづくり、イメージアップを図るイベントの開催、少子化・人口増加対策に取り組んでほしい、といった意見が見られました。

<産業の開拓・整備 95件/731件>

商業施設の誘致・充実、企業誘致、就労の場の確保、太陽光発電を使用した板倉町独自のエネルギーを考える、といった意見がみられました。

<高齢者支援 31件/731件>

運転免許証を返納した後の交通手段の確保、高齢化の進行に伴うサービスの充実など、高齢者が住みやすいまちづくりといった意見が見られました。

<安全・安心なまちづくり 166件/731件>

防災・防犯対策の強化、交通マナーの改善、子供達を地域で見守る、空き家対策など、より安全・安心なまちづくりに力を入れてほしい、といった意見が見られました。

<行政への意見 142件/731件>

効果的に税金を使う、行政区等の役員負担が多い、少子高齢化等一つ一つの課題に真摯に向かい合いビジョンを持った取り組みをしてほしい、といった意見が見られました。

<子ども・子育て支援・教育について 43件/731件>

のびのびと子供が遊べる施設の整備、病児保育所の充実、町独自の奨学金制度の充実、子育てしやすい環境を整備する、といった意見が見られました。

<合併について 14件/731件>

館林市との合併はやめるべき、館林市と合併すべき、太田市などもっと広範囲で合併し政令指定都市を目指す、といった意見が見られました。

<自然環境について 10件/731件>

自然や水に恵まれた素晴らしい町、自然環境の保護も考慮しつつ町づくりを進める、木の伐採等により自然環境が破壊されてきている、といった意見が見られました。

<住民の意識の変化 22件/731件>

昔ながらの近所付き合いが希薄になっている、地域のリーダー的人材が少ない、といった意見が見られました。

<東洋大学跡地活用について 42件/731件>

跡地の有効活用を望む、撤退に伴いますます過疎化していくことが心配、学園都市として新たな学校の開設、といった意見が見られました。

<その他 24件/731件>

ゴミステーションの利用マナーの啓発、このアンケートの結果を公開してほしい、野犬等の避妊・去勢等のサポート、といった意見が見られました。

板倉町がめざすまちづくりについて（年齢区分別）

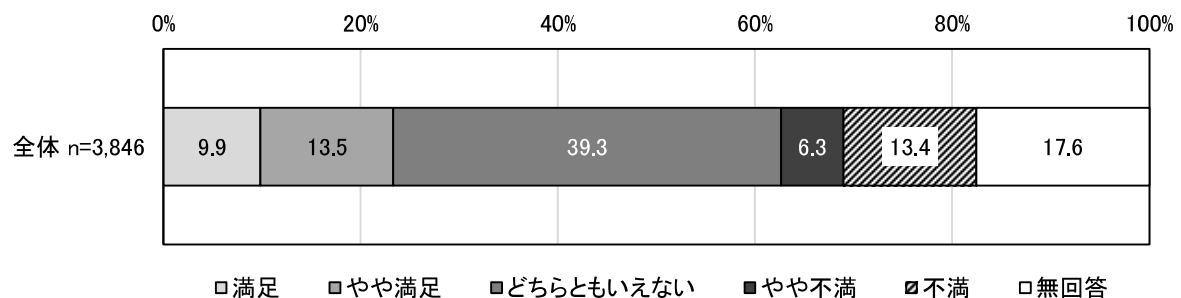
		単位	1 環境や施設等の整備・改善	2 人が集まり活気づくまちづくり	3 産業の開拓・整備	4 高齢者支援	5 安全・安心なまちづくり	6 行政への意見	7 子ども・子育て支援・教育について	8 合併について	9 自然環境について	10 住民の意識の変化	11 東洋大学跡地活用について	12 その他	13 特になし	回答者数
全体		n	159	68	95	31	166	142	43	14	10	22	42	24	37	731
		%	21.8	9.3	13.0	4.2	22.7	19.4	5.9	1.9	1.4	3.0	5.7	3.3	5.1	100.0
年齢区分別	50歳未満	n	39	10	18	2	38	28	21	0	1	3	4	7	6	146
		%	26.7	6.8	12.3	1.4	26.0	19.2	14.4	0.0	0.7	2.1	2.7	4.8	4.1	100.0
	50歳以上	n	119	58	77	29	128	111	22	13	8	19	38	17	30	579
		%	20.6	10.0	13.3	5.0	22.1	19.2	3.8	2.2	1.4	3.3	6.6	2.9	5.2	100.0

VI イルミネーション事業について

問7 令和4年度に実施したイルミネーション事業につきまして、満足度をご記入ください

イルミネーション事業の満足度について、「どちらともいえない」が39.3%で最も高く、次いで「やや満足」(13.5%)、「不満」(13.4%)の順となっています。

「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は23.4%、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』は19.7%となっています。



問8 イルミネーション事業について（自由意見）

イルミネーション事業についての自由意見の内容を分類し、その回答内容の一部を記載します。総件数は982件でした。また、回答内容ごとの件数を足し上げても、1つの意見で複数に分かれているものもあるため、総件数とは一致しません。

記述内容をまとめると、「継続してほしい・大規模にしてほしい」が18.5%、「開催場所について」が17.0%、「必要ない・興味がない」が16.5%となっています。

年齢区分別に意見の割合をみると、50歳未満では50歳以上より「他の事業に力を入れるべき」「規模が小さい・中途半端」で特に高くなっています。また、50歳以上では50歳未満より「必要ない・興味がない」「見ていない・わからない・特になし」で特に高くなっています。

<継続してほしい・大規模にしてほしい 182件/982件>

町が明るくなりこれからも続けてほしい、イルミネーションや街灯の明かりを見ると気持ちが和む、目玉になるものを作る（巨大ツリー、トンネルなど）、プロジェクションマッピングも取り入れる、観光振興に結びつけてほしい、といった意見が見られました。

<開催場所について 167件/982件>

役場でも集客はできるが駅前で行った方がより効果的であったと思う、高齢者を含め車でしか行けないところにイルミネーションは集客が難しい、道路上から撮影する方もいて安全上心配だった、といった意見が見られました。

<必要ない・興味がない 162件/982件>

イルミネーション事業に興味がない、予算の無駄遣いだと思うのでやめてほしい、予算を無理に執行する必要はない、独創的な事業を考えてほしい、といった意見が見られました。

＜情報提供・PRについて 133件／982件＞

イルミネーション事業が行われた事を知らなかった、情報発信不足だと思う、PRの方法から見直す必要がある、といった意見が見られました。

＜他の事業に力を入れるべき 125件／982件＞

企業誘致や防犯対策など優先順位を考え実施してほしい、イルミネーションを実施した場合の費用対効果を示すべき、といった意見が見られました。

＜規模が小さい・中途半端 113件／982件＞

規模が小さく魅力を感じない、イベント感が感じられなかった、といった意見が見られました。

＜節電・環境に配慮すべき 86件／982件＞

電力不足が心配されている中イルミネーション点灯は問題があるのでは、電力の高騰や電力不足を考えるとイルミネーションの電力はすべて再生可能エネルギーでまかなう等工夫が欲しかった、といった意見が見られました。

＜その他 60件／982件＞

板倉まつりや町民体育祭などを復活しても良いのではないかと、キッチンカーの出店日を増やしてほしい、といった意見が見られました。

＜点灯期間・時間について 22件／982件＞

土日は日没の時間から点灯してほしい、平日は少し早めにしてもらおうと子連れでも行きやすい、期間をもう少し長くしてほしい、といった意見が見られました。

イルミネーション事業について（年齢区分別）

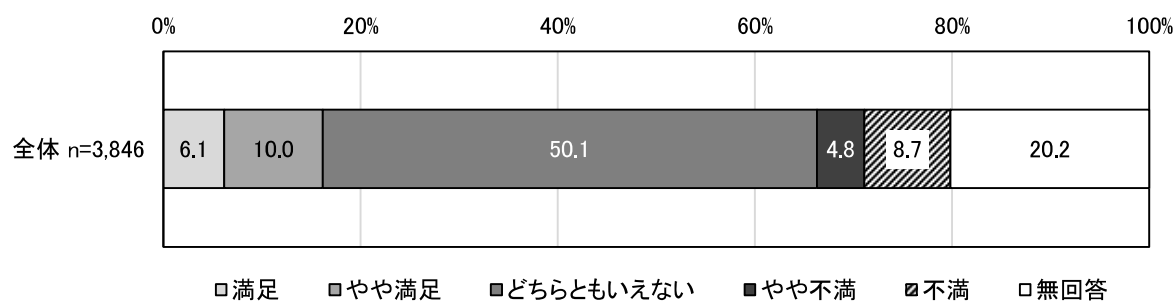
	単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	回答者数	
		継続してほしい・大規模にしてほしい	開催場所について	必要ない・興味がない	情報提供・PRについて	他の事業に力を入れるべき	規模が小さい・中途半端	節電・環境に配慮すべき	その他	点灯期間・時間について	見ていない・わからない・特になし		
全体	n	182	167	162	133	125	113	86	60	22	77	982	
	%	18.5	17.0	16.5	13.5	12.7	11.5	8.8	6.1	2.2	7.8	100.0	
年齢区分別	50歳未満	n	34	30	24	26	31	31	16	19	8	6	188
		%	18.1	16.0	12.8	13.8	16.5	16.5	8.5	10.1	4.3	3.2	100.0
	50歳以上	n	148	136	136	107	93	81	68	41	14	70	789
		%	18.8	17.2	17.2	13.6	11.8	10.3	8.6	5.2	1.8	8.9	100.0

2 調査結果

問9 イルミネーションの点灯にあわせて、キッチンカーの出店も実施しました。キッチンカーの出店につきまして、満足度をご記入ください

キッチンカーの出店についての満足度については、「どちらともいえない」が50.1%で最も高く、次いで「やや満足」(10.0%)、「不満」(8.7%)の順となっています。

「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は16.1%、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』は13.5%となっています。



3 調査結果のまとめ

(1) 回答者の属性について

男性が56.6%とやや多く、年齢は50歳以上が8割以上を占めています。また、居住年数が50年を超える方が45.7%と、回答者の4割以上が町に長年住んでいる方となっています。

家族構成は、夫婦世帯が33.0%、2世代家族が32.5%と、ともに3割以上となっており、単身世帯(17.6%)や3世代家族(6.8%)は少なくなっています。

(2) 町のことについて

町の暮らしやすさについて、「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせた『暮らしやすい』は42.5%、「暮らしにくい」と「やや暮らしにくい」を合わせた『暮らしにくい』は29.8%となっています。また、「自分のまち」として愛着を感じている程度は、「とても愛着を感じている」と「愛着を感じている」を合わせた『愛着を感じている』は52.3%と、町は暮らしやすく愛着も感じている人が多いと言えます。

今後も板倉町に住み続けたいと回答した人は71.9%で、その理由は「自然環境に恵まれている」が53.6%と最も高く、次いで「大きな災害の心配がない」(40.0%)、「治安がよい」(33.5%)、「地域での人間関係がよい」(25.8%)の順となっています。また、前回調査と比較すると、上位4項目は変わらないものの、「自然環境に恵まれている」が増加、「大きな災害の心配がない」「治安がよい」「地域での人間関係がよい」が減少しています。

反面、住み続けたくないと回答した人の理由は、「買い物や生活に不便」が74.1%と最も高く、次いで「交通の便がよくない、通勤・通学が不便」(61.6%)、「大きな災害の心配がある」(46.2%)、「保健・福祉・医療が充実していない」(35.3%)の順となっています。また、前回調査と比較すると、上位4項目は変わらないものの、「大きな災害の心配がある」が増加、「買い物や生活に不便」「交通の便がよくない、通勤・通学が不便」「保健・福祉・医療が充実していない」が減少しています。

(3) 町が行っている取組について

取組への重要度と満足度については、上記の住み続けたい・住み続けたくない理由と関連している傾向がみられます。

重要度・満足度ともに高い項目としては、「災害への備え」「環境衛生の確保」「子育て支援の充実」「健康の増進」「介護(予防)サービスの充実」「地域福祉の推進」「児童生徒の育成」が挙げられており、引き続き推進していくことが求められます。

重要度は高いが満足度が低い項目としては、「防犯体制の強化」「公共交通の充実」「商工業の振興」「道路網の整備」「財政運営の効率化」が挙げられており、より一層の推進が求められています。

住み続けたくない理由の「買い物や生活に不便」や「交通の便がよくない」というのは、「公共交通の充実」や「道路網の整備」とも結びつくため、公共交通や道路網の充実を図ることが生活の便利

3 調査結果のまとめ

さにつながり、住み続けたくない理由も変化していくことが考えられます。

そのほか、重要度にかかわらず満足度が低いものとして、「観光の振興」や「都市計画の推進」が挙げられていることから、広報や周知等も含め、重点的に推進していくものとして検討をしていく必要があります。

板倉町の好きなところやもっとPRできるところについては、「環境の良さ」「PRについての提案」「環境・施設等の改善・要望」などのご意見が多く寄せられています。

板倉町がめざすまちづくりについては、「安全・安心なまちづくり」「環境や施設等の整備・改善」「行政への意見」「産業の開拓・整備」などのご意見が多く寄せられています。

令和4年度に実施されたイルミネーション事業の満足度は、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は23.4%、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』は19.7%となっています。また、同時に出店されたキッチンカーの満足度は、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は16.1%、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』は13.5%となっています。

イルミネーション事業及びキッチンカーの出店の満足度は、ともに「どちらともいえない」が最も高い回答であったものの、『満足』と『不満』では『満足』の回答が高くなっています。

イルミネーション事業については、「継続してほしい・大規模にしてほしい」「開催場所について」「必要ない・興味がない」などのご意見が多く寄せられています。

まちづくり町民アンケート
調査報告書

令和5年8月
板倉町

〒374-0192 群馬県邑楽郡板倉町大字板倉2682番地1
板倉町役場 企画財政課 企画調整係
TEL : 0276-82-1111 (代表)